

# 環境活動レポート 2017年5月～2018年4月

認証・登録番号 : 0008414



株式会社コーキ電子  
2018年5月30日

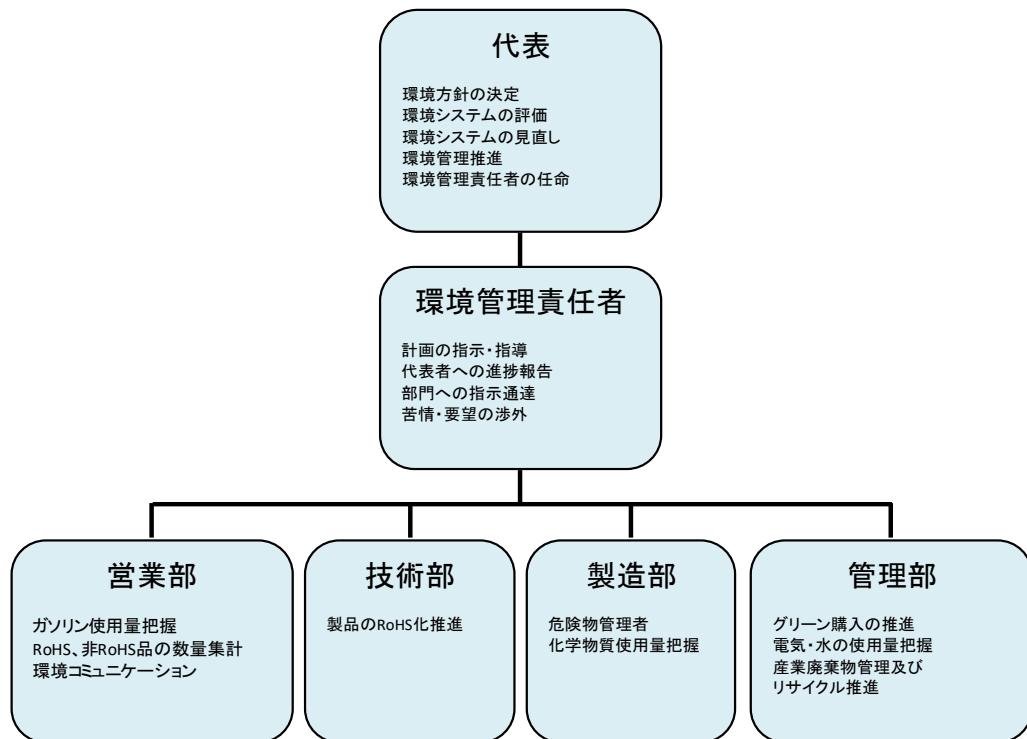


KOKI ELECTRONICS CORPORATION

## 1.組織の概要

事業所名	株式会社コーキ電子
代表者	代表取締役 八木 皓一郎
所在地	本社・工場 〒192-0051 東京都八王子市元本郷町1-13-9
事業内容	電子機器の開発・設計・製造・販売・修理
事業規模(平成29年度実績)	売上高 120百万円 床面積 277.4㎡ 従業員数 10 社有車 1台
環境管理責任者	神田 浩
担当者連絡先	TEL 042-622-2213 FAX 042-622-1255

### 組織図



## 2.対象範囲

認証・登録範囲	本社・工場、全活動を対象とします
レポートの対象期間	2017年5月～2018年4月
レポートの発効日	2018年5月30日



### 3.環境方針

#### 基本理念

株式会社コーキ電子は、環境保全が企業活動を行う上での最重要課題の一つであると認識し、以下の基本方針を定め、継続的に実施し、持続可能な社会の構築へ向けその責任を果たしてまいります。

#### 基本方針

1.具体的に次のことに取り組みます。

- ①二酸化炭素排出量削減のため、省エネルギー活動に努めます。
- ②廃棄物排出量削減及び、リサイクル活動に努めます。
- ③用水使用量削減のため、水資源の有効利用に努めます。
- ④化学物質の適正管理に努めます。
- ⑤グリーン購入に努めます。
- ⑥環境に配慮した製品の設計に努めます。

2.環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。

3.全従業員が環境方針を理解し具体的にに取り組むことができるよう、周知徹底いたします。

制定日：平成23年12月1日

株式会社コーキ電子

代表取締役 八木皓一郎



KOKI ELECTRONICS CORPORATION

#### 4.環境目標

		単位	2014年度 5月～4月	2016年度	2017年度	2018年度
			基準値 (実績値)	目標値	目標値	目標値
排出量の削減 二酸化炭素	電力排出係数0.525 ガソリン排出係数0.0671	kg-CO2	11459	11226	11112	10998
	電力	kWh	13802	13525 (基準値の2% △)	13387 (基準値の3% △)	13250 (基準値の4% △)
	ガソリン	ℓ	1814	1777 (基準値の2% △)	1759 (基準値の3% △)	1741 (基準値の4% △)
廃棄物の削減 排出量	一般廃棄物	kg	56	55 (基準値の2% △)	54 (基準値の3% △)	53 (基準値の4% △)
	産業廃棄物		130 ※1	127 (基準値の2% △)	126 (基準値の3% △)	125 (基準値の4% △)
水消費量の削減		m3	62	61 (基準値の1% △)	61 (基準値の1% △)	67 ※2

※1 2015/5～2016/4の値を基準値といたします。

※2 目標値見直し 2017/5～2018/4の値を目標値といたします。

リサイクルの推進	分別廃棄を徹底し、リサイクル廃棄物量を把握します。
化学物質 使用量の削減	使用している化学物質はごく少量の為、適正管理に努めます。
環境に配慮した 製品作り	各種規格への対応及び小型・省エネルギー設計にし、環境に配慮した製品の設計に努めます。 新規設計品及び、通常製品のRoHS化を推進します。 販売商品のRoHS化比率70%以上を目標とします。



## 5.環境活動計画

取組項目		取組内容	担当
二酸化炭素排出量の削減 (エネルギー使用量の削減)	空調	室温を暖房20℃、冷房26℃に維持するよう努める。	管理部
	照明	休み時間等の不要時に、照明の消灯に努める。	
	OA機器	事務所内OA機器等の省電力設定にし、夜間・休日は主電源を切るように努める	
	ガソリン	営業及び納品の効率化とアイドリングストップ、制限速度の遵守に努める。	営業部
廃棄物排出量の削減 (分別・リサイクルの徹底及び一般廃棄物の削減)	産業廃棄物	金属屑(鉄・アルミ・銅・ステンレス等)及び廃樹脂等の分別を徹底し、再資源化に努める。	管理部
	一般廃棄物	データの電子化・裏紙の使用・印刷ミスの削減・縮小印刷をし、廃棄物の削減に努める。 紙・ダンボール等の分別を徹底し、再資源化に努める。	
	リサイクル	簡易梱包及び梱包資材の再利用をし、廃棄物の削減に努める。 紙・ダンボール等の分別を徹底し、再資源化に努める。	
水使用量の削減	トイレ	トイレ用擬音装置の設置。 節水重りの設置。	
	蛇口	適正水量の使用を促す表示。	
化学物質使用量の削減		有害性のある化学物質適正管理に努める。	技術部
グリーン購入推進		実績を把握し、環境ラベル認定製品等の優先購入に努める。	管理部
環境に配慮した製品作り		RoHS・非RoHS製品数を把握し、製品のRoHS化推進に努める。	技術部
環境コミュニケーション		週2回の周辺地域の清掃活動を行い、地域社会に貢献するように努める。 環境目標に対する達成度について定期的に社内報告会を実施し、改善点があれば是正する。	営業部 管理部



## 6.環境目標の実績

		単位	2014年度 5月～4月	2017年度		
			基準値	実績値	目標値	目標値との差異
二酸化炭素 排出量	購入電力 ガソリン	kg-CO2	11459	12643	11112	-1531
エネルギー 使用量	購入電力	kWh	13802	16825	13387	-3438
	ガソリン	ℓ	1814※1	1641	1759	118
廃棄物 排出量	一般廃棄物	kg	56	57	54	-3
	産業廃棄物		130※2	140	127	-13
水消費量		m3	62※1	67	61	-6
化学物質 使用量	はんだ	kg	-	7	-	-
	フラックス		-	0.5	-	-
	メタノール		-	0.9	-	-
環境に配慮した製品作り (販売製品RoHS率)		%	-	78	70	8
環境コミュニケーション		%	-	100	100	0

注1)※1は2013年度見直しによる数値になります。

注2)※2は2015年年度の数値になります。

注3) 購入電力の排出係数は0.525kg-CO2/kwhにて計算しています。



## 7.環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

取組項目	担当	取組結果	次年度への課題と対策
二酸化炭素排出量の削減	電力	電力使用量が目標に対し、大幅に増えてしまった。 理由としては昨年度同様、新機種の設計が重なり、製品評価での恒温槽使用が大幅に増えた事。またそれに伴い稼働時間が増えた為、年間目標を達成する事ができなかった。	次年度も引き続き、新規案件での恒温槽使用等で増加が予想されるが、その他の箇所で節電に取り組む。
	ガソリン	今年度は生産量も多かったことから、営業と同時に納品することを高く意識することで効率化に取り組む事が出来た。 また、運転も日常的に対策に取り組め、使用量の目標を達成する事が出来た。	来年度も前年同様にガソリン対策に引き続き取り組み、年間目標を達成するように努める。
廃棄物排出量の削減	産業廃棄物	今年度は外注加工が大幅に増えた為、部品納入時に入っているプラスチックの容器・ビニール袋の処分量が大幅に減り、年間目標を達成する事ができた。	外注加工への割合で産業廃棄物の増減が決まるが、引き続き過剰な梱包材は購入先へ返却する等、削減を心がける。
	一般廃棄物	生産機種の増加や、部品棚の整理に伴う表示物の取り換えにより排出量は増加してしまった。	次年度も引き続き、少しでも一般廃棄物の削減に向け、一般廃棄物からリサイクルできる物は無いかな、分別の徹底に取り組む。
	リサイクル	全従業員への説明・確認を行い、分別廃棄の徹底ができていた。 生産機種増産により段ボール、及び雑紙のリサイクル量が大幅に増えた。	引き続き、分別の徹底を常に意識をもってリサイクル推進に取り組む。
水消費量の削減	管理部	社内乾燥対策の為、業務用加湿器を2台から4台へ増やした為使用量が増え、目標を達成する事ができなかった。	水使用は主に洗濯機、加湿器、トイレの使用なので、今年度の実数値を目標値に定め、来年度より少しでも削減できる様、節水を心がける。



取組項目		担当	取組結果	次年度への課題と対策
化学物質削減 使用量	はんだ	製造部	使用量(購入量)の管理ができていた。 また、ハンダ槽の成分分析を元に使用量がコントロールできているため、ハンダ廃棄量の削減が行えている。	引き続き、適正管理に取り組む。
	フラックス		使用量の管理ができていた。 使用期限前に全て使い切ることができていたので、購入量も適正であった。	引き続き、適正管理に取り組む。
	メタノール		使用量の管理ができていた。 保管庫の鍵も適正に管理されていた。	引き続き、適正管理に取り組む。
環境に配慮した製品作り		技術部	RoHS・非RoHS対応品の集荷数の把握。 新規製品のRoHS化推進を行えた。	お客様からの要求や、社内在庫の関係から、新規でもRoHS対応にならない物もあるが、その場合においても検討はRoHSを前提に今後も行っていく。
環境コミュニケーション		営業部	週2回の地域清掃を欠かさず実施することができたが、昨年同様社内ミーティングの定期的な実施に至らず。	来年度も地域清掃を引き続き取り組んでいき、社内ミーティングのスケジュールを先に決めることで、確実に実施出来るように努める。





## 8.環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

環境関連法規について遵守状況を確認した結果、違反はありませんでした。  
尚、行政からの違反の指摘は過去一度もありません。

## 9.代表者による全体評価の見直しの結果

2012年6月20日「エコアクション21」を認証取得し約6年が経過しましたが、従業員各々が日々の環境活動の重要性への意識も高まり、作業改善や環境活動の目標達成等に向け努力しております。

電力、水、廃棄物で目標設定値より増している項目もございますが、生産量のアップ、人員の増加、設備変更等と理由が明確なものが多く、ベースとしては改善に向かっていると判断しております。

今後も環境方針、目標、活動計画に基づき、より一層高い目標達成を目指し環境活動に取り組んでまいります。

